

令和8年4月27日

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」  
第112回（通算第191回）定例会 会議録

◆日時：令和8年4月21日（火） PM7：05～8：30  
◆場所：田辺市医師会館 3F 大講堂  
◆出席者：22名 + オンライン 5名

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：05～20：30】

19：05～ 開 会

19：05～19：15 情報提供  
紀南病院主催医療従事者向け研修会  
説明：紀南病院総務課

19：15～19：35 3/7 開催シンポジウム報告  
「災害時の多職種連携と避難所運営」  
～専門職が直面する真の課題と尊厳の守り方～  
報告者：田辺圏域医療と介護の連携を進める会 井田

19：35～19：45 参加者からの振り返り報告

19：45～20：30 意見交換・発表

20：30 閉 会

【研修内容】

・シンポジウムが導き出した3つの核心

- ①意識の転換：「助けられる人」から「助ける人」へ。自助・共助が初動を支える基盤となる
- ②命をつなぐインフラ：災害関連死を防ぐためのBKT（ベッド・キッチン・トイレ）の早期確立
- ③尊厳のバトン：職種の壁を越え、書類ではなく「本人の意思とできること」を引き継ぐ多職種連携

## ・パネラーからの視点

中先生：自分の命は自分で守る。「自助」の大切さとBKTの重要性。

山下先生：環境衛生とゾーニング設計。入口の一元化と動線設計の徹底

森本さん：生活不活発病へのアプローチ、ロングフライト症候群の予防

福田さん：ADL低下の予兆を捉えるプロのアセスメント。「何ができないか」ではなく「本来何ができるか」の意思を引き継ぐ命のバトンの重要性

西野さん：災害ボランティアセンターとしての機能と。見えない困りごとを救い上げる平時からの関係構築

和田さん：急性期の医療活動から福祉・生活支援への切れ目のない体制構築とマネジメント機能の重要性

## ・参加者からの意見

平時からの顔の見える関係の大切さ

災害関連死を防ぐための水分補給・口腔ケアの重要性

薬の備蓄に関する課題

## 【意見交換】

### ・備蓄と事前の備え

→訪問時の準備として備蓄を検討している。ただ、消費期限もあるのでどこまですればいいのか利用者へハザードマップを示して避難先などの情報提供をしている

車のガソリンは半分になる前に入れるようにしている

電気自動車の利用

車の中に備蓄をしている

### ・自分たちの安否確認と利用者支援

→平時に安否確認方法を確立させておくことが重要

災害時は利用者支援もトリアージをしてからになると思う

### ・避難所での活動

→避難所で医療的ケアを訪問看護ができるのかを確認しておく必要がある

個別避難計画の中に医療ケアを位置付けておくことも大切

医療福祉調整本部としては福祉部門とどうつなげていくかの検討が必要

1.5時避難所は切ない場所だった。でもやらないといけない場所でもある。本人の思いを伝えていかないといけないと思う

物資の管理や有効活用するための方策を考えていく必要がある

### ・多職種連携・お付き合い

→災害時にもリハ職にできることがあるので、活用してほしい

災害が起こった時に前向きに体操したりできるかは不安だが、周囲からの気づきを促すこともできる

ふだんからいろいろな職種の人と話をしておくことが大切

### ・生きた訓練

→災害が起こった時の誘導方法について、シミュレーションしておくことが大切

実際に住んでいる地域で要配慮者を含めた訓練をしてはどうかと提案してみたが、未実現

ボランティアは受け入れる側が大変だが、行くと勉強になる

避難が必要と考える人は地域性がありそう

## 【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

**日時**：令和8年5月19日（火） 午後7時～

**場所**：田辺市医師会館 3F 大講堂

**内容**：未定